

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 1 日

事業名称		都市計画事務費 [ウォーキングマップの配布事務]									
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	3			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	都市計画		課		都市計画		係	課長名	神山 尚		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 3			
【施策名】 都市景観の形成							総合計画書(ページ)	87			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民及び来訪者 →				必要とする市民等						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市内を散策し、自然や文化財に親しみながら、市の街づくりを知ってもらおう。 →				配布枚数							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①ウォーキングマップの内容を適宜見直し、印刷する。 ②4種類のウォーキングマップを所定の場所で配布する(随時補充)。 →				印刷枚数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	枚	-	-	-					
	成果指標	②の数値	枚	10,190.0	8,630.0	9,450.0					
	目 標	②の目標値	枚	10,000	8,000	8,000					
目標値設定の考え方 印刷枚数と印刷頻度を踏まえ、計画的な配布枚数を設定する。											
活動指標		③の数値	枚	20,000	16,000	16,000					
3 経費	事業費(実績)		円	302,400	293,760	299,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	302,400	293,760	299,200					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	1,127,700	1,118,160	1,130,200						
4 環境変化等	(1) 開始年度	12 年度									
	(2) 環境の変化	特になし									

事業名称	都市計画事務費 [ウォーキングマップの配布事務]			
担当部署・課長名	都市計画	課	都市計画	係 課長名 神山 尚

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記）	
	情報の更新などを行い、より見やすく、親しみやすいマップを作成していく。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	桜が丘編、野火止用水編について、写真や案内の説明を見直し、より分かりやすい説明とした。	
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	ウォーキングに活用しやすいマップを作成するとともに、配布枚数について検証を行う。	
9 今後の方向性	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 都市景観の形成 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 より見やすく、親しみやすいマップを作成していく。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
凡例等、マップの見やすさを追求し、適宜、時点修正を図る。引き続き配布枚数についての検証を行っていく必要がある。		